

米国病院船マーシー東京寄港に係る企画検討会（第3回）

議事要旨

1 日時等

日時：平成30年2月8日（木）10：30～12：00

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

2 出席者

跡見委員（座長）、小井土委員、砂田委員、山口委員、吉井委員、行政委員（内閣官房（内政）三浦委員、内閣官房（事態対処・危機管理担当）岩下委員（代理 堺参事官補佐）、内閣府（防災）須藤委員、消防庁 野本委員（代理 石井救急推進係長）、厚生労働省 徳本委員（代理 小谷専門官）、海上保安庁 金子委員、防衛省 矢田委員、防衛省 得津委員（代理 堀越班員）、防衛省 山口委員（代理 渡辺班長）、東京都 小澤委員（代理 金杉統括課長代理）、東京都 清武委員

3 議事要旨

（1）事務局から、「サンディエゴにおける米側との協議結果及び米国病院船マーシー寄港時の企画案」について説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 見学ルートとしては、メインフロアとウォードを見ればよく、薬局や検査室については事前資料で把握しておけば十分かと思うので、ルート案①がよいのではないか。
- 船内オペレーションデモを行う場所を見学会で事前に見ておき、あらかじめご説明頂いた方が、セミナーの際に何をしているのか明確にわかりやすいので、ルート案①を基本にしてはどうか。
- 司令機能が重要だろうと思うので、ルート案①を中心として、各国のリエゾンオフィサーが集まるコマンドルーム等を含めることでどうか。
- ギャレーという大きなキッチンがあるので、是非見てほしい。ここでは何百人分の食事を作る規模であり、緊急時に役に立つものであると考える。見せていただく価値はある。
- 時間の制約もあるので、加えるものは加えて、省くものは省く必要があるが、基本的にはルート案①を採用することとする。時間についても、1時間で全体的なものを把握していただくこととしたい。

（2）事務局から「セミナー参加者の考え方」について説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- I 班の病院としての能力については、災害時における病院としての医療機能はどのようなものを是非検討していただき、あくまで視点は災害時における病院船として、しっかり病院関係者がここまでは必要だろうということを議論していただく形にしたい。
- 病院船としての機能を最大限に発揮するために、この船がどのようなサポート機能を必要とするのか、ということを検討するのが II 班の役割であり、具体的には、司令機能、通信機能、受入ロジ、出発までの手続論など、医療関係者が医療に集中するために、周りがどういうことを具備するべきか、ということ II 班にご議論いただきたいと思う。
- 班が決まってから、質問として挙げるものに関してはあらかじめ米側に情報提供していた方がより正確な情報が得られてよいと考える。
- I 班、II 班、III 班の大きな枠組みは、基本的には事務局の案でよいと考えるのでこれで進めることとし、企画検討会の有識者委員には各班に加わっていただきたい。また、班長、副班長というように役割分担をし、班長については、原則として企画検討会の有識者委員の中から選ぶこととする。
- 物流を扱う人がマーシーには乗っていたと思うので、日本の物流関係の方もどこかに入っていた方がよいのではないかと。
- マーシーを理想とした議論ではなく、マーシーが持つ弱点、不必要な部分、問題点を明らかにすることもこの検討会の大きな目的だろうと思う。
- 参加いただく学会は、救急医学会はもちろんだが、透析患者が日本に 30 万人程度いて、透析難民も出ることを考えると、おそらく透析学会などからも参加していただくことも必要だと思う。
- I 班は、災害に関与する様々な医療関係の学会の参加が必要と思う。II 班は、DMAT という名前が入っているが、指定公共機関である日本赤十字社や日本医師会の JMAT など、そういったところからも組織として入ってもらえればよいと思う。
- 班の人数について、I 班、II 班、III 班を同じ人数で分ける必要はなく、特に III 班の平時の運用方法というのは、医療関係者よりもこういったことに通じた方たちに集まっていただくところであると思うので、III 班の規模は少し小さくして、病院船としての能力や役割というようなところは医療関係者に十分に加わっていただく必要はあると思う。
- 一般的な物流問題にフォーカスするというのは我々が考えることではない。今回は、災害時の病院船としての機能として一番大きく考えるということになると、薬剤等の物流をどうするかということであると思う。ロジ関係について、医療資材などはマストだと思うので、これも含めて、ご推薦いただきたい。
- II 班については、むしろ医療活動を取り巻く能力を議論するという点なので、医療以外の職種を中心に構成されるのが、妥当だと思う。
- 各班の候補について、1、2 週間以内に委員に候補名を出していただきたい。

また、今出たご意見、今後ご推薦いただく方たちをもとに、事務局で班員の候補、班長候補、副班長候補案を作成して、座長と事務局で検討する。そのうえで、次回の企画検討委員会において、再度、委員の皆様と議論して決定する。

(3) 事務局から今後のスケジュールについて説明が行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- まずは班員を決める必要があるがマーシーの持つ利点や問題点、こういったものを把握して、次のステップに進む必要があるので、公平な目で様々なご意見を出していただく方々を班員としてお願いしたい。

(4) 事務局から以下の事項を連絡し、閉会。

- 次回企画検討会は3月中旬から4月上旬の予定。
- セミナー参加者については、有識者委員、省庁の方々にも協力をよろしく願いたい。

以 上